



題字 草原田 親

No. 1049

2025/7/1

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒111-0953
東京都中央区浅草橋2-2-3
4F 4F 5F
電話 03(558)3140(代)
FAX 03(558)3141
http://www.jcfa-net.jp
E-mail: jicfa@jicfa-net.jp
振替 00110-1-21176

日中友好協会
岡山支部
〒705-0034
岡山市北区下伊福
西町1-58 民生会館1F
TEL/FAX 086(256-1806)

日中友好協会
倉敷支部
〒712-8031
倉敷市福成町32461-45
TEL/FAX 086(411-7806)

日中友好協会岡山支部ホームページ

<http://rizhongyouhao.iinaa.net/>
メールアドレス

nicchuckayama@yahoo.co.jp



平和への想いを引き継ぐ

今年も「平和の波」がやってきました。6月20日、表町商店街に平和の折鶴の吹流しを飾りました。

太極拳講習会を初め、多くの岡山支部関係者のみなさんが折ってくれた折鶴で3本の吹流しを作りました。ガザ地区やウクライナの平和を祈るウクライナ国旗風の吹流しと七夕らしくみんなの願いを書いた短冊を提げた吹流しが2本。中央には毎年同様に、竹内元理事長直筆のスローガン「平和と健康を求めて」を吊るしました。



太極拳講習会指導員 青木正美

太極拳愛好者で平和の波の実行委員長もされていた竹内先生は、昨年末に惜しくもお亡くなりになりました。

不穏な世界に平和が戻るよう、先生の想いを大切につないでいきたいと思っています。

7月23日(水)の夕方の撤収まで、表町3丁目のさんかく岡山の西に飾っていますので、ぜひご覧ください。

吉備路散策

5月4日(日)、いつもなら太極拳の日曜練習会を岡輝公民館でやっているところだけど、この日は祝日で公民館が休みだったため、みんなで吉備路散策に行くことにした。

参加者は7人、うち4人は中国人だった。3人の日本人は中国語講座の受講者でもある。使用言語は日本語だ。そんなもんだ。

吉備路散策のコースは、備中高松駅→造山古墳→国分寺→作山古墳→東総社駅で、だいたい11キロぐらい。ネットでもルートを調べた時には4時間と出ていたが、昼ご飯の順番待ちや、疲れ果てての公園休憩がはいったので5時間以上かかった。

天気は晴れ。みんなでダカダカ歩いた。途中で寄った蝙蝠塚古墳で、入り口でボランティアのおじさんが「中で蝙蝠が待ってるよ」と教えてくれた。中に入ってみたら、待ってたのは人間だった。騙されたかと思ったけど、天井に一



お昼のチキン南蛮定食

匹だけ蝙蝠がいた。騙されてなかった。国分寺の近くで昼ご飯を食べ、のどかな道を歩いた。国分寺周辺には多くの人がいたが、少し離れると歩いていたのは私たちだけだった。車か、自転車での移動が普通なようだ。ネットに散策ルート載ってたんだけどなあ…。

終盤では力尽きてきた人たちの希望で住宅街にあった公園で小休止した。元気が残っていた人は、鉄棒やブランコで遊んで待った。

吉備路散策はけっこうな運動だったので、つぎにどこかに行くときには、もう少し楽なところに行った方がよさそうだと思った。太極拳教室は高齢者も多いので。

楽しかったけどなー！

小川涼子



状元籌大会

5月18日の中国文化に親しむ会は、岡輝公民館で状元籌という中国のサイコロゲームで遊んだ。参加者は4人で、全員がこのゲームを初めて遊んだ。

状元籌はサイコロの出目によって札を取っていき、最終的に札にある点数の合計が高い人が勝ち、という、よくあるタイプのゲームだ。

札には中国の科挙に関する状元「探花」進士などと、それぞれの点数が書いてあり、サイコロの1がいくつ出たかなどで取れる札が変わる。

もともとのルールのにはサイコロを6個同時に振って、だいたい20〜30分で終わるゲームのようだった



つたが、どうしても状元（1の目が5個）が出せなくて、1時間たったくらいでサイコロを倍の12個に増やした。ようやく状元が出るまでにはさらに30分かかったけども。

優勝者は姫さんだった。はじめから高得点の札をたくさんとっていたが、途中サイコロを増やした後、最下位になり、そこから状元を出しての波乱万丈な優勝だった。

時間はかかったけども、面白いゲームだったし、札もせっかく作ったので、ちよつとルールを見直してまた遊びたいと思う。

小川涼子

籌の字は音読みで「チュウ」、訓読みで「数取り」ばかりごと（計略）とも読みます。

数を数えるときに使う竹の棒」という意味もあります。

左上の写真の棒を小川さんが作ってくれました。

アイスがたくさん食べたのかという私の質問に、百均に売っていることでした。

色を塗って文字を書いたのは小川さんです。

真田



写真1 ポチ袋

常州への旅⑨

真田紀子

翌日12月28日は、いよいよ劉老師と胡滿意さんとの結婚式です。当日の朝食の記憶がありません。この部分だけでも後で、小川さんと田中さんに聞いてみます。

その後、部屋で着替えていると隣の劉老師の部屋がにぎやかになってきました。外に出てみると、ドアの前で、胡さんが大きな声で何か言っています。ドアの中から女性の声で何か言っています。内容はわかりません。何回かのやり取りの後、少しドアが開きます。そこを胡さんの友人たち（男性）が押し入ります。その間も周りの人たちに、胡さんが赤いご祝儀袋（日本でいうポチ袋）（写真1）を渡します。私も頂きました。中には10元紙幣が入っていました。

やつと部屋の中に入った胡さんの前には、ベッドに座っている劉老師がいます。（写真2）その周りは劉老師のお兄さんや親せきの人、友人たちでいっぱいです。前日遅くまでかかって部屋中が色んな飾りで埋め尽くされています。

いよいよ結婚の申し込みです。胡さんが部屋のじゅうたんに跪き、友人たちから手渡されたセリフが印刷さ



れた大きな赤いカード（左の資料）を読み、そこにサインします。そして持ってきた花のブーケを

彼女に渡し、彼女の額にキスをします。これを、写真を撮るため何回かやり直します。この流れをプロの写真家が記録していきます。

次回の新聞発送作業は7月10日（木）午前10時半から民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

井飼 河犬 真田

ラブ銀行預金契約書 尊敬する花嫁:

資料

本人（新郎氏名）身份證号 XXXXXX, 一生の愛、給料、時間、感情、忍耐、料理、食器洗い技術、馬殺鶏技術を自発的に捧げます。すべて無償であなたの愛の銀行口座に入金する、本声明は以下のとおりです。

- 一、毎日親しみを抱き高め、無理由に欠席しないことを保証する。
- 二、給与を納め、小遣いを管理し、私に「小金庫」を設置してはならない。
- 三、怒りを忍耐し、喧嘩を先に説得し、冷戦を3時間以上は決してしない。
- 四、食器洗い、ご飯を炊く、犬を散歩する、すべてをすべて包んで愚癡を言うことはない。
- 五、月に1回のデート、年に1回の旅行、祭りのサプライズは絶えずライン。
- 六、この預金は終生有効であり、取り消し、譲渡、凍結はできない。
- 七、この協定は、花嫁に1つ、義母に1つ、二つ一式で、決して失効しない。

ここに立証する!

新郎のサイン: _____ 署名日: _____